

## 2. 小規模多機能型居宅介護たんぽぽの郷 事業計画

### 1、事業目標

#### 「利用者をもっと知ろう」

利用者様の不安な気持ち、穏やかな気持ちなど、なぜ？不安なのか、どうして？穏やかなのかなど、認知症の背景にある気持ちを考えてケアを行い、ケアの質をあげていく。

### 2、利用者処遇

- ① 職員一丸となって「思いやり」の心をもって、温かいケアを行っていきます。  
(不適切な声掛けはしない、言葉の虐待防止を意識する)
- ② 家族、利用者様の要望に添えるようにサービスの変更・追加等に柔軟に対応していきます。
- ③ 職員一人一人が介護のプロとしての自覚を持ち、ご利用者様のプランに沿ったケアの提供を行います。
- ④ 利用者様が意欲的に残存機能が活用出来るような言葉かけを行います。

### 3、個人情報、情報開示について

- ① 個人の情報保護法に関する諸法令を遵守し、保護に努めます。
- ② 事業内容は季刊発行される「たんぽぽ新聞」やホームページにて公表していきます。
- ③ 2ヶ月に1回開催される運営推進会議にて情報開示致します。

### 4、健康管理

- ① 利用時は毎回、検温・血圧・脈を行い、観察することで心身の異常の早期発見に努める。
- ② 日頃の手洗い、うがい、温度、湿度、体調管理を行っていきます。
- ③ こまめに換気や空気の入れ替えを行い、感染症の蔓延防止に努めます。

5月 加湿器回収 清掃

10月 加湿器設置

12月 大掃除

- ④ 病名、薬の種類を確認し、健康状態を正確に把握します。

### 5、送迎について

- ① 安心して乗車して頂けるよう、車両点検・清掃を行います。ご家族不在時は、希望の内容の対応と、身体状況に合わせた誘導を実施、安全の確保をしながら送迎を行います。

### 6、家族への支援について

- ① 訪問、電話、メール、送迎時や連絡帳を通じ情報交換を行いながら、利用者、家族の希望を受け止め、信頼関係を築き、安心してサービスを使って頂けるように努めます。

### 7、苦情解決・事故防止の取り組み

- ① 事故/ヒヤリハットの情報共有を行い、その報告書をベースに事故の分析を行い、より正確な状況

把握と再発防止に努めていきます。

- ② 職員同士が声を掛け合い、コミュニケーションを取って速やかに対応していきます。
- ③ 苦情や事故が発生した場合は、適切に対応し改善を努めていきます。

## 8、防災対策について

- ① 年2回以上の防災訓練（避難訓練・防火訓練）を実施します。
- ② 防災備品の整備、防災における屋内対策（消火器場所の把握、避難経路や避難口の確認）屋外対策、職員の防災知識の向上に努めます。
- ③ 地域社会との連携を図り、訓練などに参加協力を依頼していきます。

5月	避難訓練	火災による避難訓練・通報訓練・水消火器による消火訓練
8月	夜間想定	地震による通報→避難訓練 ※夜勤者が一連の対応を行う。
11月	避難訓練	地震による避難訓練・通報訓練
2月	夜間想定	通報→初期消火→避難訓練 ※夜勤者が一連の対応を行う。

## 9、地域活動への取り組み

- ① 地域町内会、老人会、民生委員、地域包括支援センターと連携して、地域行事への参加活動を増やしていきます。
- ② 「たんぼぼの郷」の全体行事の際、近隣、町内会、老人会、民生委員などの方々へのお知らせを行い、参加協力を依頼します。

## 10、計画の数値化

- ① 登録人数を、毎月25名にこだわります。
  - i) 年間売り上げ予想 6,000万円
  - ii) 月平均登録者数 23名
  - iii) 平均介護度 2.5入院に至る怪我、感染症の防止に努め、途切れない登録者を確保することで、売り上げ向上に努めます。
- ② 収益の増加に結びつく取り組みをしていきます。
  - i) 職員の適正配置の見直しを行います。（常勤<非常勤の比率）
  - ii) 経費削減の努力をしていきます。
  - iii) 小規模多機能を更に認知して頂く為に、事業所の活動内容を記載したチラシ等の配布を行い、周知活動に努め、居宅介護支援事業所・医療機関への積極的アプローチをしていきます。

11、行事計画 → 年間計画表に記載

12、研修計画 → 年間計画表に記載